

2024年度 シラバス

科目名	サロン運営学	区分	選択	授業時数	210時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 上田 大野 奥田 尾崎 柏倉 瓦崎 木梨 治村 東野 藤井 吉川	実務経験	有			コース	マスターコース
学修内容	サロンワーク内のカットを中心とした理論および技術の習得 サロン経営学ならびに日本を含む世界経済を学ぶ経済学の知識の習得 サロン経営における実践マーケティングの基礎知識、毛髪化学およびカウンセリング、 ヘアケア剤の知識習得とアイブロー技術の習得、サロン現場で活躍できる人材の創出						
到達目標	カット、カラー、パーマ等サロンワークの技術を使用した自由制作、即役立つ売れるノウハウを身に付ける。夢・ 目標を明確にする。ヘアケアマイスタープライマリー合格。						
授業の方法	カット技術を中心としたウィッグおよび人頭を使用した実習を行う 経営学、経済学は講義形式で行う						
成績評価の方法と基準	修了試験として、ウィッグ制作を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	実習課題に関して、一度で身に付くものではないので、授業時に作成したカットのダイアグラムを用いて、繰り返し反復練習を行う。						
実務経験に基づく授業内容	主担当の講師はサロンオーナーであり、サロン経営を行うとともに、自らもスタイリストとして現場の第一線で活躍している。老若男女さまざまなお客様のニーズに応えるためには基本理論・技術はもちろんのこと、日々変わっていく流行にも敏感に反応していかなければいけない。 学生に対しても基本理論・技術のみならず現場での最新の技術・知識の伝達を行い、卒業後の学生がすぐに現場に対応できるよう教育をしている。主に美容室のコンサルティングを本職にしており、これから美容業界に羽ばたいていく学生に対し経営方法について伝授していく。社員教育や管理についても現状を伝え指導。						
使用教材	カットウィッグ、カット用具一式、授業テキスト、資料、メイク道具一式、ヘアケアマイスターブック						
履修に当たっての留意点	特になし						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第1回	マーケティングとは	マーケティングの定義 ビジネスにおける「儲け」とはどうやって生まれるのか 感動とは何か 繁盛を実現するための経営姿勢（返報性の原理）	
第2回	お客様のファン化について	7種類のお客様 ファン化を促進させる2つのポイント 売上げのメカニズム お客様の生涯価値を獲得する	
第3回	期待するお客様の行動を生み出す	人は購買を感性で決め理性で正当化する 売れる！キャッチフレーズのつくり方	
第4回	繁盛を実現するサロンの仕組みづくり	お客様に選ばれる理由を明確にする～ブランド構築 お客様をファン化するさまざまな取り組み	
第5回	価値ある目標設定と達成シナリオのつくり方	夢を実現する価値ある目標設定法 「将来の夢・目標」を明確にする（※全員発表・提出）	総合評価テスト
第6回	サロン創りの事例紹介	10年、20年後の自分の姿をイメージする 独立開業時にサロンをイメージする	
第7回	サロン創りの全体説明	グループでサロンコンセプトをまとめ 店創りのベースをつくる。基本計画組立て	
第8回	サロンレイアウト器具選定	箱図の中にパズル形式でサロン全体のレイアウトをグループで構成、 レイアウトに合わせてタカラベルモントの器具を選定して危険予算を 計算する	
第9回	事業計画	サロン全体の資金計画を算出、損益を成立させサロンコンセプト、 ポイントをまとめ発表の準備をする	
第10回	発表	タカラベルモントショールームにてグループごとに サロン創り発表、その後ショールーム見学	

## 2024年度 シラバス

科目名	サロン運営学	区分	選択	授業時数	210時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 上田 大野 奥田 尾崎 柏倉 瓦崎 木梨 治村 東野 藤井 吉川	実務経験	有			コース	マスターコース
学修内容	サロンワーク内のカットを中心とした理論および技術の習得 サロン経営学ならびに日本を含む世界経済を学ぶ経済学の知識の習得 サロン経営における実践マーケティングの基礎知識、毛髪化学およびカウンセリング、ヘアケア剤の知識習得とアイブロー技術の習得、サロン現場で活躍できる人材の創出						
到達目標	カット、カラー、パーマ等サロンワークの技術を使用した自由制作、即役立つ売れるノウハウを身に付ける。夢・目標を明確にする。ヘアケアマイスタープライマリー合格。						
授業の方法	カット技術を中心としたウィッグおよび人頭を使用した実習を行う 経営学、経済学は講義形式で行う						
成績評価の方法と基準	修了試験として、ウィッグ制作を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	実習課題に関して、一度で身に付くものではないので、授業時に作成したカットのダイアグラムを用いて、繰り返し反復練習を行う。						
実務経験に基づく授業内容	主担当の講師はサロンオーナーであり、サロン経営を行うとともに、自らもスタイリストとして現場の第一線で活躍している。老若男女さまざまなお客様のニーズに応えるためには基本理論・技術はもちろんのこと、日々変わっていく流行にも敏感に反応していかなければいけない。 学生に対しても基本理論・技術のみならず現場での最新の技術・知識の伝達を行い、卒業後の学生がすぐに現場に対応できるよう教育をしている。主に美容室のコンサルティングを本職にしており、これから美容業界に羽ばたいていく学生に対し経営方法について伝授していく。社員教育や管理についても現状を伝え指導。						
使用教材	カットウィッグ、カット用具一式、授業テキスト、資料、メイク道具一式、ヘアケアマイスターブック						
履修に当たっての留意点	特になし						

### 各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第11回	発表	タカラベルモントショールームにてグループごとにサロン創り発表、その後ショールーム見学	
第12回	序章～第一章毛髪化学	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説	
第13回	第一章毛髪化学	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説	
第14回	第一章毛髪化学	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説	
第15回	第二章毛髪のカウンセリング	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説	
第16回	第二章毛髪のカウンセリング	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説	
第17回	第三章ヘアケア剤	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説	
第18回	第三章ヘアケア剤	ヘアケアマイスター教科書を使用して、主題の解説	
第19回	復習	学習範囲の復習プリント	
第20回	復習	学習範囲の復習プリント	

2024年度 シラバス

科目名	サロン運営学	区分	選択	授業時数	210時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 上田 大野 奥田 尾崎 柏倉 瓦崎 木梨 治村 東野 藤井 吉川	実務経験	有			コース	マスターコース
学修内容	サロンワーク内のカットを中心とした理論および技術の習得 サロン経営学ならびに日本を含む世界経済を学ぶ経済学の知識の習得 サロン経営における実践マーケティングの基礎知識、毛髪化学およびカウンセリング、 ヘアケア剤の知識習得とアイブロウ技術の習得、サロン現場で活躍できる人材の創出						
到達目標	カット、カラー、パーマ等サロンワークの技術を使用した自由制作、即役立つ売れるノウハウを身に付ける。夢・ 目標を明確にする。ヘアケアマイスタープライマリー合格。						
授業の方法	カット技術を中心としたウィッグおよび人頭を使用した実習を行う 経営学、経済学は講義形式で行う						
成績評価の方法と基準	修了試験として、ウィッグ制作を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	実習課題に関して、一度で身に付くものではないので、授業時に作成したカットのダイヤグラムを用いて、繰り返し 反復練習を行う。						
実務経験に基づく授業内容	主担当の講師はサロンオーナーであり、サロン経営を行うとともに、自らもスタイリストとして現場の第一線で活 躍している。老若男女さまざまなお客様のニーズに応えるためには基本理論・技術はもちろんのこと、日々変わっ ていく流行にも敏感に反応していかなければいけない。 学生に対しても基本理論・技術のみならず現場での最新の技術・知識の伝達を行い、卒業後の学生がすぐに現場に 対応できるよう教育をしている。主に美容室のコンサルティングを本職にしており、これから美容業界に羽ばたい ていく学生に対し経営方法について伝授していく。社員教育や管理についても現状を伝え指導。						
使用教材	カットウィッグ、カット用具一式、授業テキスト、資料、メイク道具一式、ヘアケアマイスターブック						
履修に当たっての留意点	特になし						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第21回	復習	試験問題を想定した練習プリント	
第22回	復習	試験問題を想定した練習プリント	
第23回	復習	試験問題を想定した練習プリント	
第24回	復習	試験問題を想定した練習プリント	
第25回	復習	試験直前対策総復習	
第26回	試験	ヘアケアマイスタープライマリー試験	
第27回	アイブロウとは	上がり眉や下がり眉など眉の印象の変化について学ぶ 眉の名称 バランスの良い毛の流れ、描き方 アイブロウコスメの種類、眉に合わせた選び方、眉色の選び方	
第29回	描き方	前回授業の復習と共に確認 アイブロウ道具の商品名から使い方、手の動かし方 自眉にバランス良く自身で描いていく 眉のお手入れ方法（カットの仕方） アイブロウシザーズの持ち方、指の動かし方 安全に怪我がないよう手の甲や腕の毛でアイブロウカット練習	

2024年度 シラバス

科目名	サロン運営学	区分	選択	授業時数	210時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 上田 大野 奥田 尾崎 柏倉 瓦崎 木梨 治村 東野 藤井 吉川	実務経験	有			コース	マスターコース
学修内容	サロンワーク内のカットを中心とした理論および技術の習得 サロン経営学ならびに日本を含む世界経済を学ぶ経済学の知識の習得 サロン経営における実践マーケティングの基礎知識、毛髪化学およびカウンセリング、 ヘアケア剤の知識習得とアイブrou技術の習得、サロン現場で活躍できる人材の創出						
到達目標	カット、カラー、パーマ等サロンワークの技術を使用した自由制作、即役立つ売れるノウハウを身に付ける。夢・ 目標を明確にする。ヘアケアマイスタープライマリー合格。						
授業の方法	カット技術を中心としたウィッグおよび人頭を使用した実習を行う 経営学、経済学は講義形式で行う						
成績評価の方法と基準	修了試験として、ウィッグ制作を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	実習課題に関して、一度で身に付くものではないので、授業時に作成したカットのダイヤグラムを用いて、繰り返し 反復練習を行う。						
実務経験に基づく授業内容	主担当の講師はサロンオーナーであり、サロン経営を行うとともに、自らもスタイリストとして現場の第一線で活 躍している。老若男女さまざまなお客様のニーズに応えるためには基本理論・技術はもちろんのこと、日々変わっ ていく流行にも敏感に反応していかなければいけない。 学生に対しても基本理論・技術のみならず現場での最新の技術・知識の伝達を行い、卒業後の学生がすぐに現場に 対応できるよう教育をしている。主に美容室のコンサルティングを本職にしており、これから美容業界に羽ばたいて いく学生に対し経営方法について伝授していく。社員教育や管理についても現状を伝え指導。						
使用教材	カットウィッグ、カット用具一式、授業テキスト、資料、メイク道具一式、ヘアケアマイスターブック						
履修に当たっての留意点	特になし						

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第30回	描き方	前回授業の復習と共に確認 アイブrou道具の商品名から使い方、手の動かし方 自眉にバランス良く自身で描いていく 眉のお手入れ方法（カットの仕方） アイブrouシザーズの持ち方、指の動かし方 安全に怪我がないように手の甲や腕の毛でアイブrouカット練習	
第31回	アイブrouシザーズ &実技	前回授業の復習確認 デモンストレーションにてアイブrouを整え描いてみせる 相モデルで似合わせアイブrou実技&話法確認	
第32回	アイブrouシザーズ &実技	前回授業の復習確認 デモンストレーションにてアイブrouを整え描いてみせる 相モデルで似合わせアイブrou実技&話法確認	
第33回	似合わせアイブrou	相手を変えてシザーズ&似合わせ実技&話法	
第34回	似合わせアイブrou	相手を変えてシザーズ&似合わせ実技&話法	
第35回	最終アイブrou	右眉にクールな眉実技&左眉にキュートな眉実技 話法確認	
第36回	最終アイブrou	右眉にクールな眉実技&左眉にキュートな眉実技 話法確認	
第37～45回	修学内容の確認	サロン授業を行うにあたって、今後の修学内容の確認	

## 2024年度 シラバス

科目名	サロン運営学	区分	選択	授業時数	210時間	対象学年	2年
担当教員	阿部 泉 上田 大野 奥田 尾崎 柏倉 瓦崎 木梨 治村 東野 藤井 吉川	実務経験	有			コース	マスターコース
学修内容	サロンワーク内のカットを中心とした理論および技術の習得 サロン経営学ならびに日本を含む世界経済を学ぶ経済学の知識の習得 サロン経営における実践マーケティングの基礎知識、毛髪化学およびカウンセリング、ヘアケア剤の知識習得とアイブロー技術の習得、サロン現場で活躍できる人材の創出						
到達目標	カット、カラー、パーマ等サロンワークの技術を使用した自由制作、即役立つ売れるノウハウを身に付ける。夢・目標を明確にする。ヘアケアマイスタープライマリー合格。						
授業の方法	カット技術を中心としたウィッグおよび人頭を使用した実習を行う 経営学、経済学は講義形式で行う						
成績評価の方法と基準	修了試験として、ウィッグ制作を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	実習課題に関して、一度で身に付くものではないので、授業時に作成したカットのダイヤグラムを用いて、繰り返し反復練習を行う。						
実務経験に基づく授業内容	主担当の講師はサロンオーナーであり、サロン経営を行うとともに、自らもスタイリストとして現場の第一線で活躍している。老若男女さまざまなお客様のニーズに応えるためには基本理論・技術はもちろんのこと、日々変わっていく流行にも敏感に反応していかなければいけない。 学生に対しても基本理論・技術のみならず現場での最新の技術・知識の伝達を行い、卒業後の学生がすぐに現場に対応できるよう教育をしている。主に美容室のコンサルティングを本職にしており、これから美容業界に羽ばたいていく学生に対し経営方法について伝授していく。社員教育や管理についても現状を伝え指導。						
使用教材	カットウィッグ、カット用具一式、授業テキスト、資料、メイク道具一式、ヘアケアマイスターブック						
履修に当たっての留意点	特になし						

### 各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第46～54回	カット実習	ロングレイヤーテクニックの習得	
第55～63回	カット実習	ミディアムショートテクニックの習得	
第64～72回	サロン経営学	経験を通じて、サロン経営に関する講義	
第73～81回	カット実習	グラデーションボブテクニックの習得	
第82～90回	カット実習	ショートレイヤーテクニックの習得	
第91～99回	経済学	世界情勢に関する講義	
第100～109回	カット実習	刈り上げテクニックの習得	
第110～119回	カット実習	レイヤーテクニックを使用した自由制作	
第120～129回	サロン経営学	経験を通じて、サロン経営に関する講義	
第130～139回	カット実習	エクスターナルグラデーションテクニックの習得	
第140～149回	カット実習	インターナルグラデーションテクニックの習得	
第150～159回	経済学	世界情勢に関する講義	
第160～169回	カット実習	グラデーションテクニックを使用した自由制作	
第170～189回	カット実習	カラーの理論および基本から応用テクニックの習得	
第180～189回	カット実習	パーマ理論および巻き方によるデザインの考え方	
第190～199回	サロン経営学	経験を通じて、サロン経営に関する講義	
第200～210回	カット実習	カット、カラー、パーマを使用した自由制作	